

答弁書第二号

内閣参質一一八第二号

平成二年六月五日

内閣総理大臣 海部 俊 樹

参議院議長 土屋 義 彦 殿

参議院議員吉川春子君提出防衛本庁の市ヶ谷移転計画に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員吉川春子君提出防衛本庁の市ヶ谷移転計画に関する質問に対する答弁書

一及び二について

防衛庁本庁庁舎等の移転計画（以下「移転計画」という。）は、防衛本庁等いわゆる防衛中枢を檜町地区から市ヶ谷地区に移転させ、これに伴い、首都及びその近郊の防衛施設の再配置を図るものである。これは防衛中枢の所在する檜町地区周辺の商業地化が進んでいるため、国有財産の有効利用の観点から計画したものであり、防衛中枢を市ヶ谷地区に集中させることを目的とするものではない。

三について

移転計画は、防衛施設の再配置を図るものであり、機構・機能の改善を図るためのものではない。

四について

昭和六十三年年度予算により実施した基本設計においては、御指摘の防衛庁内部部局、陸上幕僚監部、海上幕僚監部、航空幕僚監部、統合幕僚会議、調達実施本部及び防衛施設局のすべてを同一庁舎に配置させる計画はない。また、中央指揮所についても、旧軍の地下壕ごうを改装し使用する計画はない。

移転計画により市ヶ谷地区において取得する施設にどのような器材を設置するかについては、今後の検討に係る問題であり、申し述べる段階にない。

五について

防衛庁としては、現在、情報関係組織の在り方について検討を行っているが、いまだその内容を示し述べる段階にない。

六について

移転計画により施設の再配置を実施した後の各地区ごとの主な再配置機関等の名称及び所在人員数は、別表一のとおりである。

七について

檜町、市ヶ谷、十条、目黒、大宮、朝霞及び霞ヶ浦地区の主な建物等の名称、建面積及び規模は、別表二のとおりである。

八について

移転計画による施設整備については、昭和六十三年から着手しており、同年度予算においては市ヶ谷、十条、目黒、大宮、朝霞及び霞ヶ浦の六地区に係る調査工事費及び基本設計費を計上し、また、平成元年度予算においては同六地区に係る環境調査費並びに大宮、朝霞及び霞ヶ浦の三地区に係る実施設計費を計上したところである。

平成二年度予算案においては市ヶ谷、十条及び目黒の三地区に係る実施設計費並びに市ヶ

谷、目黒、大宮、朝霞及び霞ヶ浦の五地区に係る庁舎等の本工事費を計上している。

九について

移転計画に係る総経費は、現時点において確定的なことは申し上げられないが、現在のところ約三千億円程度となるものと考えている。

十について

檜町地区の移転跡地については、移転計画の策定に当たり、近隣の公示価格等を総合勘案して処分の見込価額を算定したが、その額の具体的な開示については、将来の同跡地の処分価額に予断を与えるおそれがあることから、答弁することは差し控えたい。

なお、移転計画に係る所要経費は、これにより賄える見込みである。

十一について

防衛庁は、昭和三十五年以降檜町地区を使用しているが、同年以降建設した主な施設は、防

衛庁本館庁舎、防衛施設庁庁舎、中央指揮所等であり、これらの工事費の総額は約六十億円で
ある。

また、中央指揮所は、防衛出動等の自衛隊の行動等に関して、防衛庁長官が情勢を把握し、
適時所要の決定を行い、部隊等に対し命令を下すまでの一連の活動を迅速かつ的確に実施する
ことを目的とするものである。檜町地区に所在する中央指揮所については、防衛中枢の同地区
から市ヶ谷地区への移転に伴い、取り壊すこととなる予定である。

別表一

地区名	主な再配置機関等の名称	所在人員数
市ヶ谷	防衛庁内部部局 陸上幕僚監部 海上幕僚監部 航空幕僚監部 統合幕僚会議 技術研究本部 調達実施本部 防衛施設庁	約七、二〇〇名

十	黒	航空自衛隊補給本部	約二、一〇〇名
目	黒	陸上自衛隊幹部学校 海上自衛隊幹部学校 航空自衛隊幹部学校 統合幕僚学校	約八〇〇名
大	宮	陸上自衛隊第三十二普通科連隊	約一、五〇〇名
朝	霞	陸上自衛隊東部方面総監部	約三、九〇〇名
霞	ヶ	陸上自衛隊通信補給処	約二、四〇〇名

別表二

地区名	主な建物等の名称	建 面 積 (平方メートル)	規	模
檜 町	庁舎 食堂等	約一五、六〇〇 約一、七〇〇	七階建はか 二階建はか	
市 ヶ 谷	庁舎 隊舎 倉庫 鉄塔	約八、三〇〇 約二一、二〇〇 約四、四〇〇	三階建はか 五階建はか 二階建はか 高さ約一〇〇メートル	

十 条	目 黒	大 宮	朝 霞	霞 ヶ 浦
工場 倉庫 試験室	庁舎 実験室	庁舎 工場 倉庫 試験室	庁舎・隊舎 食堂等 工場 倉庫 鉄塔	隊舎 工場 倉庫
約三〇、三〇〇 約二一、六〇〇 約七、三〇〇	約八、五〇〇 約一七、九〇〇	約二、四〇〇 約八、六〇〇 約九、一〇〇 約一、八〇〇	約三七、二〇〇 約六、七〇〇 約一四、四〇〇 約一〇、六〇〇	約三、六〇〇 約八、四〇〇 約三五、三〇〇
三階建ほか 二階建ほか 二階建ほか	四階建ほか 三階建ほか	四階建ほか 二階建ほか 五階建ほか 平屋建	四階建ほか 平屋建 平屋建 平屋建 高さ約一〇〇メートルほか	三階建ほか 二階建ほか 二階建ほか

(注) 平成元年三月三十一日現在